

創立昭和28年1月8日



TANABE ROTARY



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

2011-12年度
国際ロータリーテーマ

「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」
-Reach within to Embrace
Humanity-
カルヤン・パネルジュー
RI会長
大澤徳平ガバナー

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
(1) 真実かどうか
(2) みんなに公平か
(3) 好意と友情を深めるか
(4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
例会場 紀伊田辺シティプラザホテル
会長 伊賀 久記
幹事 福本 雅彦
会報委員長 柏木 壽夫
http://tanabe-rc.com/

承認 昭和28年3月2日
事務所 〒646-0031
田辺市湊1073-63
TEL 0739-24-2002
FAX 0739-26-0264
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp



「知恩院三門」撮影 柏木壽夫会員

- 司会者
伊賀久記会長
- ソング
よろこびの歌
- ゲスト
- ビジター

本日のプログラム 12/22

mi Kumano 副理事長
チェロ奏者
藤堂 素子 様

12月29日・1月5日は休会です

次回のプログラム 1/12

新年例会
「年頭挨拶」
伊賀久記会長

出席報告

	第2899回	第2900回	第2901回
会員数	85名	85名	85名
出席規定免除会員数	10名	10名	10名
出席計算会員数	82名	81名	83名
出席者	68名	61名	67名
出席率	82.93%	75.31%	80.72%
メイクアップ	3名	5名	
修正出席率	86.59%	80.49%	

お祝い

会員誕生日 多屋平彦、古久保
結婚記念日 鎌塚

ニコニコ箱

☆彗瀬さん、卓話楽しみにしています。……………
……………伊賀、福本雅、中松、新井、植田英、
山本、横田、新藤、瀬戸、竹内、濱口、柏木、田中、玉井
☆本日、卓話させていただきます。よろしくお願い致します。
この冬も節電のご協力よろしくお願い致します。彗瀬
☆昨夜大変うれしい事、ボーリング月一回で4ゲームトータル762ピン平均190点が達成で勝組、久記君ご苦労様でした。……………渡部
☆またまた山本さんにお世話になります。……………中松
☆中松様、いつもごひいきにありがとうございます。……………
……………山本
☆忘年会が続いていて酒量が増えてしまい、ガンマGTPも上昇しています。気を付けて飲むようにします。……………中田
☆12月10日の私のホールインワンコンペにご参加頂きありがとうございました。晴天に恵まれ、盛大に催して頂き、お世話になりました。皆様に御礼申し上げます。……………榎本長
☆榎本長治君ホールインワンコンペで8位に入賞しました。……………廣本

☆榎本さんのホールインワン記念コンペで、3位となりました。榎本さんに運を少しわけて頂きました。ありがとうございました。……………長井

お知らせ

会長報告

・12月4日に田辺ライオンズクラブ創立40周年記念式典が行われ、出席してまいりました。田辺ライオンズクラブより礼状が届いています。

幹事報告

・先週通知しました新会員として推薦されました1名の方への異議申し立てがありませんでした事をご報告致します。
・会員名簿を希望される方は、入口に準備していますので事務局西中までお申し出下さい。
・近隣クラブの会報が届いていますので回覧します。

委員会報告

青少年奉仕委員会

竹内正巳委員長

・2011-12年度ライラセミナーの募集案内を報告します。日程は、来年2月4・5日に1泊2日大阪府羽衣青少年センター、4月8日泉ヶ丘国際障害者交流センタービッグ・アイにて14歳～30歳までの青少年男女およびロータリアンを対象に行われます。ロータリアン以外の研修生の中から2012年5月3～5日タイ・バンコクで開催される国際大会に優秀者2名が推薦され参加予定になっています。申し込み締切は12月25日です。

社会奉仕委員会

大木誠治委員長

・タイ王国及びトルコ共和国災害義援金は、3回の募金で55,749円集まりました。ニコニコ会計より4,251円抛出してタイ・トルコへ其々3万円、計6万円を地区へ送金しました。ご協力ありがとうございました。



新会員卓話

『平成23年台風12号
電力設備被害並び
復旧状況について』

冨瀬義文会員

台風12号は、8月25日に発生し9月5日に温帯低気圧に変わるまでの11日間、大型で動きが遅かったため長時間にわたり広い範囲で大雨となり大きな被害をもたらしました。

紀伊半島では総降水量は広い範囲で1,000mmを超え、奈良県上北山村では統計開始以来の国内の観測記録を大幅に上回る1,652mm、総降水量は1,808mmに達しました。一部では2,000mmを超えた雨量であったとも言われております。

関西電力の電力設備も甚大な被害があり、多くの停電が発生し、復旧に2週間以上を要する地域もあり、お客さまや地域の皆様にご迷惑をお掛けすることになりました。あらためましてお詫び申し上げます。

本日はお時間を頂戴いたしまして、台風12号での電力設備被害ならびに復旧状況等についてお話をさせていただきます。

【関西電力田辺営業所のご紹介】

その前に、関西電力田辺営業所（新宮営業所を含む）のご紹介をさせていただきます。所管エリア、従業員数は次のとおりです。（平成23年3月末現在）

1. 所管区域 和歌山県3市13町1村
三重県1市2町
奈良県1村の一部
2. 面積 3,628km²
3. 世帯数 14万世帯（人口：32万人）
4. 従業員数 232名（田辺営業所：145名
新宮営業所：87名）
5. 車両台数 124台（田辺営業所：73台
新宮営業所：51台）

関西電力には「発電所」「送電線」「変電所」等、色々な電力設備等があります。営業所で所管しております電力設備は「電柱」「電柱間の電線」「電柱に設置されているトランスや開閉器」「お客さま宅までの引込線およびメーター」等になります。これらの電力設備に被害が発生した場合、営業所が復旧作業を行います。

【台風12号の被害状況等】

台風12号の被害の特長は、紀伊半島に集中しているということです。和歌山県、奈良県の南部に集中しており、特に和歌山県の被害が大きかったことが、停電口数からもお解かりいただけると思います。

（和歌山県：約11万口 奈良県：約3万件 10/5現在）

過去の台風による被害と比較しても、台風被害としては過去最大級のものとなりました。

【被害例】

- ・熊野地区 土石流による設備流失
- ・日高川 河川氾濫による設備流失
- ・国道311 土砂崩れによる道路寸断、設備流失
- ・本宮地区 電柱の高さまで水没（軽トラックが電柱上部に漂着）
- ・那智地区 河川氾濫、土砂崩れ、JR西日本の鉄橋流失
- ・熊野川 河川氾濫により路肩崩落、設備流失・倒壊

- ・熊野市 紀宝町 河川氾濫による水没、JR東海の鉄橋流失

【困難な電力復旧作業】

停電の復旧も長期間要することになりました。長期間に及んだ理由として「過去に経験がないほどの多くの電力設備が被害を受けた」ことも大きな理由ではありますが、電力設備被害が「断線（電線の切断）に止まらず、土砂崩れ等で電柱の流失」した。

さらには「土砂崩れ等で道路が寸断される」「危険なため道路が通行禁止となる」等、工事車両や作業員が早期に復旧現場に立ち入れなかったこと。道路が流失・寸断されることにより、電力の送電ルートが寸断され同ルートでの復旧ができず、新たな送電ルートが必要となったこと等が大きな要因です。

また、電話等の通信手段が途絶えたため、被害地域のお客さまや自治体様と連絡が容易にとれなかったこともあげられます。

その他、新宮地域では電話等の通信手段が途絶えたことに加え、数日にわたる断水により現地での食料調達が困難になりました。

また、当初ガソリンも不足し現地調達できないという事態となったため、新宮営業所に対し「水」「食料」「ガソリン」等の補給を田辺営業所から実施しました。当時、通行できる道路は42号線のみで、道路渋滞もあり運搬には長時間要する結果となりましたが、何とか新宮営業所で備蓄されている食糧と燃料、そして補給物資により復旧体制を保つことができました。

【復旧体制】

復旧要員については、田辺営業所の上位機関である和歌山支店はもとより、関西電力全社からの応援（一部は台風上陸前から待機）、協力会社についても全ての地域から応援体制（一部は台風上陸前から待機）をとり、万全の体制（復旧要員の不足が発生しない体制を確立）を早期にとりました。

被害発生後速やかに、「中部電力」をはじめ「北陸電力」「中国電力」「四国電力」「九州電力」と「沖縄電力」を除く西日本の電力会社各社に集結いただき、復旧作業体制のさらなる強化がはかれました。

なお、他の電力会社が和歌山県入りしたのは今回が初めてのことで、それほど、台風12号は大きな被害をもたらしたということになります。

【大活躍の発電機車】

「道路の寸断」「土砂崩れ」等により電線路（送電ルート）が寸断された場合は、新たに電柱を建てられない等、送電ルートが確保できない場合が多く、さらには、工事車両が復旧現場へ行けないこと等により停電が長期化したします。そのような場合、応急復旧策として「発電機車」で発電した電気を停電地域に送電いたします。当然ながら、停電地域に「発電機車」が入れる場合に限りです。

今回の応急復旧作業で活用した「発電機車」は、関西電力が9台、他の電力会社合計で23台が活躍いたしました。

【特殊車両のご紹介】

今回の復旧作業では「発電機車」をはじめ次のような色々な特殊車両が活躍いたしました。

- 「衛星中継局車」：無線、携帯電話等の通信手段が途絶えた場合に活用
- 「サポートカー」：移動基地の指令本部、待機場所等として活用
- 「高所作業車」：高さ約14mまでの高所作業で活用
- 「穴掘建柱車」：電柱を建てる際に活用

